研究課題番号	1MF-2301
研究課題名	法学および工学的アプローチの連携による災害・事故時における化学物質と環境リスク管理制度並びに情報基盤に関する研究
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	鈴木 規之

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

サブテーマ1は災害・事故に伴う化学物質リスクへの対処に対して、法学的分析を与えるものであり、国内法の整理から現行法における課題を抽出したことは、ひとつの成果だと評価する。対象となる所轄省庁を問わず、不足している法律を補完するための提案となる研究成果を期待する。また、机上演習等で顕在化した課題への対応を通して、平時から発災時、その後までを連続的にカバーできる制度等の構築に向けて、多様な場や条件設定下で必要な情報・知見等の一層の集積が強く期待される。制度化のために行政と協力しての研究は極めて重要だろうと思われ、その成果を期待しているが、制度化にあたっては、責任の所在、対策の分担につながるような成果が必要となると思われる。